

## 令和7年度第3回守山市図書館協議会 議事録（要旨）

- 日 時 令和8年2月5日（木）  
開会時刻 午後2時00分  
閉会時刻 午後4時00分
- 場 所 守山市立図書館 多目的室
- 出席委員等
- |     |         |     |         |
|-----|---------|-----|---------|
| 会 長 | 岸 本 岳 文 | 副会長 | 佐 伯 一 惠 |
| 委 員 | 小 村 みゆき | 委 員 | 久 米 輝   |
| 委 員 | 寺 井 信 義 | 委 員 | 梅 景 敬 子 |
| 委 員 | 村 瀬 幸 子 | 委 員 | 岡 田 知 巳 |
| 委 員 | 真 弓 美矢子 | 委 員 | 山 田 均   |
| 委 員 | 高 橋 重 雄 | 委 員 | 原 田 幸 子 |
| 委 員 | 今 関 信 子 |     |         |
- 事務局職員および説明員
- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 教育長     | 辻 本 長 一 | 教育部長    | 神 藤 高 敏 |
| 教育部次長   | 中 野 浩   |         |         |
| 図書館館長   | 西 村 克 子 | 図書館副館長  | 佐 藤 志 歩 |
| 図書館管理係長 | 天 谷 真 彦 | 図書館運営係長 | 井 澤 知 恵 |

## 1 開会

### <事務局>

本日は、公私何かとご多用の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。ただ今から、令和7年度第3回守山市図書館協議会を開会させていただきます。

途中ではございますが、ここで皆さんに悲しいお知らせがございます。本委員会委員として長年ご尽力いただきました、浅田紀代子委員が1月16日にお亡くなりになりました。享年83歳でいらっしゃいました。

浅田委員は平成28年から5期にわたり図書館協議会委員をおつとめくださり、また、守山読書連絡協議会においては、平成24年から令和6年6月の解散に至るまで、会長として地域の読書活動の推進に多大なご尽力をいただきました。その功績により、守山市読書連絡協議会としまして令和5年12月には、公益社団法人読書推進運動協議会より第56回優良読書グループ表彰を受賞されています。さらに、ご自身の著書エッセイ『いとおしきもの』を出版されるなど、読書文化の発展に大きく貢献されました。

前回の第2回の図書館協議会ではお元気なお姿で出席されており、突然の訃報に、深い悲しみと驚きを隠せません。

ここに謹んで、浅田紀代子様のご冥福をお祈り申し上げ、これより1分間の黙とうを捧げたいと存じます。

皆様のご協力をお願いいたします。

黙とう

終了します。

ありがとうございました。

## 2 会長あいさつ

皆さんこんにちは。今日は少し暖かくなりました。

今、お話ありましたように、浅田紀代子さんが突然お亡くなりになりました。確か11月の初めだったと思います。第2回協議会の際、終わると玄関の横でも一り一カーをお待ちになっていて、そこで少し立ち話をしてからお別れしていました。あれからわずか3か月、こんな形でお別れするとは全く思いもしませんでした。浅田さんとはずっと一緒に、浅田さんの姿をみると気持ちが落ち着きます。非常に穏やかなお人柄で、気持ちも落ち着いて助けられたように思います。先ほど浅田さんの著書の紹介もありましたが、本当に本がお好きな方でした。浅田さんのご冥福をお祈りするとともに、浅田さんが守山市で読書活動が活発なことを願っておられたと思いますので、その意思を受け継いで図書館協議会としても活動していければと思います。

本日時間が取れると思いますので、守山市が進めている「読書日本一のまち」について少し話したいと思います。どういうふうになったら「読書日本一のまち」なのか、「読書日本一のまち」にしていくために、こんなことができないかということ話し合えればと思っています。

本日はよろしく申し上げます。

### 3 教育長あいさつ

非常に悲しい報告がありました。浅田紀代子様には謹んでご冥福をお祈りいたします。

本日は、大変ご多用の中、守山市図書館協議会にご出席賜り誠にありがとうございます。また平素より図書館運営、読書活動推進につきまして多大なご支援、ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

この3月で委員の皆様の任期が満了となります。この間、「守山市子ども読書活動推進計画第4次計画」の策定にご尽力を賜りましたこと重ねて御礼申し上げます。

さて、図書館では「読書日本一のまち」を目指し、読書のきっかけづくりとして、中学校にて歴史作家の今村翔吾さんをお招きした講演会を開催いたしました。また、音訳や朗読のボランティア養成講座にも多くの方にご参加いただき、今後の図書館での活動に期待をしております。

さらに、「わくわく！としょかんまつり～みんな集まれ！」では、図書館サポート隊や関連団体の皆さまにもご協力いただき、総参加人数が1,200人を超える大変な賑わいをみせました。

北部図書館では、「クリスマスおはなし&こうさく」や「新春福袋2026」など、様々な催しを開催し、来館者の皆さまに楽しいひとときを提供することができました。

学校司書に関しては、バリアフリーやブックトークに関する研修を実施し、各学校における児童・生徒の読書環境の充実に努めているところです。

先ほど会長より「読書日本一のまち」の話がありましたが、先日歴代の教育委員会委員の皆様、元教育長が集まる会があり、さまざまなご意見をいただく場がありました。そこで、「読書日本一のまち」について、何をもって「読書日本一のまち」なのかという問いかけがございました。読書は人々の生活を豊かにするものですし、それがたくさんの人に根付いていくことが大切だと思っております。こうした素晴らしい施設だけでなく、中身も充実して素晴らしい取組をしていきたいと思っております。

本日の協議会では、これらの活動を中心に、令和7年10月以降の図書館業務についてもご報告申し上げます。

最後になりますが、本日も「読書日本一のまち」づくりの実現に向け、委員の皆様それぞれのお立場から貴重なご意見を賜れば幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

#### <事務局>

辻本教育長ありがとうございました。

それでは、お手元の名簿をご覧ください。

本日は、田中委員が公務でご欠席との連絡を受けてございます。

本会議の成立要件にある委員の半数以上がご出席いただいておりますことにつきましても、併せてご報告させていただきます。

本日の傍聴の申し込みにつきましては、ありませんので、そちらもご報告させていただきます。

## 4 議事

### (1) 報告事項

#### <事務局>

それでは議事に入らせていただきます。

これよりは、守山市図書館協議会規則第2条第3項によりまして、会長に進行をお願いしたいと存じます。

岸本会長、どうぞよろしくお願ひいたします。

#### <岸本会長>

それではお手元の次第に従いまして、本日の協議会の議事を進めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

報告事項「令和7年度守山市立図書館業務報告について（10月1日から12月31日まで）」、事務局より説明をお願いいたします。

#### <事務局>

資料に沿って説明【資料1、2】

#### <岸本会長>

ありがとうございます。10月から12月にかけての報告をしていただきました。インスタグラム、写真なども使っていただき、大変分かりやすい紹介でした。ただいまの説明について、ご意見ご質問があれば挙手でお願いします。

図書館まつりに委員の方も何名か参加していただいています。感想等お願いします。

#### <真弓委員>

おりがみ体験（クリスマスグッズ作り）をしました。昨年もたくさんの方が来ていただき、その時に気が付けばよかったのですが、教えていると新しい参加者が次から次へと入ってきました。かなり混乱があり、来年からは時間制で区切ろうと思います。近所の施設に入っている高齢者も参加してくださいましたが、最後の方で材料が切れてしまい、せっかく楽しみに来てくれたのに申し訳なかったです。次年度はやり方を考えなければと思います。

#### <原田委員>

参加された方の意見といたしますか、イベントがあると図書館の駐車場がなく、県立総合病院に止めていることがあります。ボランティアの方むけの駐車チケットなどは用意されていますか？

#### <事務局>

特別な用意はしていません。ボランティアさんは図書館の貸出カードをお持ちだと思いますので、貸出カードと駐車場のチケットをもってきていただくと無料になり

ます。サポート隊は基本的に守山市に住んでおられる方しかできませんので、貸出カードをは作っていただければと思います。

<原田>

土日は無料ですが、おはなし会で平日に来た場合に駐車場に止められないことがあります。平日でも対応していただけるのでしょうか。今後こういった意見が増えてきたときに対応していただけるのでしょうか。

<事務局>

平日に関しては、県立総合病院もいっぱいですので、駐車していただくことはできませんし、掛け合っても断られてしまう状態です。そういうお声もありますが、今すぐに対応は難しく、隣のほほえみセンターの行事と重ならないようにお互い配慮しています。平日の水曜日などは、ほほえみセンターの健診があると向こうに結構人が行っているということがあります。大きい行事に関しては重ならないようにしています。ただ、貸館の利用者がどの程度くるかよくわからないこともあります。どうしても貸館で80人など来られ、1人ずつ車に乗ってこられると駐車場がいっぱいになり、たまたまほほえみセンターの行事と重なってしまうこともあります。やはり利用が多いので、なかなかうまくいかない日もあります。土日は学習コーナーの利用者で長時間駐車している方もおられるので、駐車場がすぐには空かないこともあります。平日ですと短時間で帰られる方もおられるので、少し待っていただければ駐車していただければと思います。

<岸本会長>

ありがとうございます。

平日の駐車場はかなり厳しい状態だと思います。実際には借りて帰られる方が多いので、他の施設に比べると駐車場の回転は早いほうかなと思います。少し待っていただければ停められるのではないかという印象があります。

<今関委員>

図書館友の会で初めて古本市場を行いました。そのときに、本が集まりすぎたらどうしよう、余ったらどうしようというのがみんなの悩みの種でしたが、図書館にたくさん力を出していただき、うまくいきました。図書館のリユース本をベースに、会員たちが自分たちでセレクトした本を持ち寄ってコーナーを作ることができました。余った本も図書館で処分していただくことができました。児童図書が集まりにくく、持ち帰る回転も速くて、どんどんとなくなっていくのに本がなかったというのが、来年度の課題だと思います。市民の方が面白がって、自分が持ってきてもいいのだと、2冊か3冊持ってきて、その本がなくなると、喜んでまた2冊か3冊自分のうちから本を持ってきてくださいました。面白い人がいらっしゃるなというのも印象深く覚えています。普段はあまり話せない友の会の会員同士が待ち時間にいっぱい話せていたというのも、嬉しいことでしたし、ご近所の方たちに図書館を宣伝することができたのは、とてもよかったと思っています。佐伯先生が交渉係で本を出してください、処分はどうしましょうと交

渉してくださいました。

#### <佐伯委員>

初めての取り組みなので、どれだけ集まるかなと心配はありました。先ほども言われたように、集まりすぎても困るし、少ないのも寂しいということで、最初はオープンにして、みんなから集めようかという話になりましたが、結局友の会の会員で知った人に声をかけようという方向になりました。私もご近所さんに声をかけたら、意外にもたくさん本が出てきました。どんな本がいいのか、どれだけ持っていったらいいのかと協力的で、地域にも本好きの人がいることが分かりました。ご近所さんとも話げできたのがよかったです。家で眠っている本が、新たな読者を増やせたら素晴らしいことなので、次年度開催できるなら、もう少し広げてやってみようかと話が出ています。

#### <岸本会長>

大盛況だったようで、続けてできればという希望があったようです。

他にご意見はありますか。

ないようでしたら、「読書日本一のまち」について、どんなことをしていったらいいのか、こんなことが実現できたら日本一と言っていいのではないかというようなご意見がありましたらお聞かせください。

#### <小村委員>

学年度末なので、生活や遊びのまとめとして、好きなお話をもとにしたおはなし遊び劇をして、保護者の方に見てもらいました。昨日、5歳児の参観が終わりました。あるクラスが『エルマーのぼうけん』のあそび劇をしたのですが、保護者の方の感想で、自分も子どものころこの話が好きだった、子どもたちにも好きな気持ちを持ってほしいと言ってくださいました。これを聞いて、この話が好きだなという気持ちを持ち続けてほしいなと思いました。本当に好きなお話が1冊でも増えていったらいいと思いますし、今は保育者に読んでもらうことが多いですけど、自分で手に取って読んで、これ楽しかったなという気持ちを引き続き持つてほしいと思いました。そういったことも「読書日本一のまち」につながるのかなと感じました。

#### <久米委員>

小学校の代表です。「いつだって好奇心 手を伸ばせばそこに本」という素敵なキャッチコピーを、学校で実現するにはどうすればいいのか、1回目の協議会の際に小学校であれば学級文庫の充実を図りたいというようなことをお話ししたかと思ひます。今年度そこに力を注ぎたいと思ひていたのですが、校舎の改築工事などがあり、プレハブの校舎に2学年入っていたり、図書室自体も引越したりと、なかなか思うように進んでいません。けれどもやはり学級文庫をもう少し何とかしたいということを今年1年観察しながら思ひておりました。以前の河西小学校では、本の好きな教員が、中古屋さんの本を安く仕入れて、廊下に誰が読んでもいい文庫コーナーというのを作っていました。毎日、本がないぐらいに読まれており、ああいうことができたらいいなと思ひ

っています。実際にはまだそこまでできていないのですが、1学年ずつでも増やしていけたらいいと思っておりました。それにはまず予算がいりますので、何とか予算を確保して、そして廊下にそういう本を入れる代わりに学級文庫に入れることができたらいなと思っています。ようやく工事が3月末で竣工しそうですので、図書室も新しく変わります。以前より床面積を広げて、コーナーも工夫して、図書室に通える環境は整いそうなどころが見えてきました。来年度は当初から図書室の運営に力を入れたいと思っています。「手を伸ばせばそこに本」が実感できるような学校や教室にしたいと思います。

以上です。

#### <寺井委員>

3点お伝えします。1点目は、久米委員と私で小中学校の図書館部会をしています。毎年発行している読書感想文集が今年で54年目になりました。去年と今年、その巻頭、最初のことばで「読書日本一のまちもりやま」の宣伝を書いています。どこまで効果があるかわかりませんが、図書館協議会での活動のところを抜粋して書きました。2点目は、先ほどから何度も出てきた今村翔吾さんの講演会についてです。中学生は、テレビにでている人が来るとか、結構衝撃があります。今村さんもサインをたくさん書いてくださって、それを校長室とか正面玄関とか、図書室に飾りました。そこに格言が書いてあり、図書館の雰囲気もバージョンアップしました。3つ目は、この会議に参加させてもらって、学級文庫が大事だとすごく感じたので、全クラス、全部見ました。学級によって取り組み方が違うのですが、職員会議や朝の打ち合わせで、守山市でこういうことやっていると云ったら少しくづつ良くなって、特別教室までが学級文庫を置いてくれて、本を子どもたちに読んでほしいという雰囲気が出てきています。そのなかで学級文庫の中に漫画っぽいものを入れているクラスがあり、どう扱うのか悩んでいます。学習漫画や歴史漫画など、読むことによって勉強できるものもあります。教員と相談していますが、どの漫画が良くてどれが駄目なのか、境界線が難しいです。ここ20年ぐらいずっと悩んでいます。

#### <梅景委員>

本に親しむ環境はいろいろあります。家庭、学校もその一つだと思っています。守山では小学校9校中5名の学校司書がいます。中学校では4校中2名です。昔に比べてすごく増えてよかったと思っています。私も13年守山北高校にいますが、オリエンテーションのときに、司書を知っているかと聞くと、昔はあまり知られていなかったのが、最近知っている子が増えてきています。それはやはり小中学校にも学校司書がいることがつながっていると思います。司書がいると、授業以外の時間に気軽に図書室に行けるという環境があり、本を手取る機会がふえます。ただ、高校生になると、10分の休み時間でもスマホを見ています。図書館に足を運ぶという機会が、どの学校でも減っています。どうしたら図書館に来てもらえるか課題です。昨日も司書部の研究会があり、取組の共有をしました。司書は学校にひとりしかいないので、どういうふうにしたらいいいのか悩んでしまいます。守山市も小学校5名、中学校2名の学校司書がいるなか

でさまざまな悩みがあると思います。研修の機会を作ってもらえると心強いです。こういうふうにしたら図書館に足を運んでもらえるということが共有できるように。どれが子どもたちにとって、すぐそばに本があるという環境につながっていくと思いますので、よろしくをお願いします。

#### <高橋委員>

今日が図書館協議会の参加が最後だと思いますので、日頃思っていることをお伝えします。

図書館では蔵書の構成に力を入れていると思います。私は将棋のボランティアをしており、自分も研鑽しないといけないので、将棋の本を借りますが、藤井聡太とか雲の上の人の本が多く、入門用の将棋の本がないように感じます。市立図書館に見当たりません。単に蔵書の予算をつけるだけでなく、一部のマイナーな人の本ではなく、広く子どもや入門向けの本も選書してもらえるとうれしいです。

岐阜県の大垣市立図書館が、電子図書館を大手の出版社とコラボして設置されました。分館がいくつかありますが、プラットフォームがあり、自宅でもタブレットで見られるようにしてあるようです。絵本がほとんどで、やはり絵本に触れる機会を増やすのがこれからの子どもたちのためだと思います。

蔵書を増やすためには財源の問題もあるかと思いますが、雑誌のスポンサー制度の取り組みを広げて、企業や団体に出資していただき、児童書の充実をしていただければと感じています。

また、毎週のおはなし会も、1回の参加者は少人数でも、回数を重ねると大きいと思います。ボランティアが手遊びと絵本の読み聞かせをされていて、とても好評だと感じています。図書館の魅力だと思いますので、今後も大事にしていきたいです。

#### <原田委員>

11月のときにも話しましたが、1月9日に地域の小学校の6年生におはなし会をしてきました。今の6年生が、コロナのときは1年生で、学校に行くのもままならないときでした。卒業するまえに、1回でもおはなし会ができたのがよかったと思います。さすが6年生で、集中してきてくれていました。先ほど、高校生だとスマホをという話がありましたが、中学校はまだ持ち込み禁止だと思います。やはり小中時代に読書習慣をつけるのがすごく重要なことだと思います。今村翔吾さんのお話がでましたが、中学校は3年間経つと子どもが全部入れ替わってしまうので、できれば定期的を実施しただけだと子どもたちの読書への興味も継続できるのではと思います。

漫画については、私は『ベルサイユのばら』で歴史を学んだ世代です。『あさきゆめみし』で源氏物語を学ぶことができますし、大人目線で線引きするのではないですが、漫画きっかけで知識を得ることもあります。最近だと『はたらく細胞』、地元に関係するものだと『ちはやふる』も、百人一首に興味を持つきっかけになると思います。漫画でも様々な興味を持たせてくれるものがあると思います。

### <真弓委員>

将来何年後かに「読書日本一のまち」という目標があるなら、やはり一番大切なのは今の子どもたちだと思います。そう考えると、毎回お伝えしているように、学校1校に1名司書を置くのが一番だと思います。それしかありません。本だけあってもだめで、人がいないといけません。本気でできるかどうかは市の力の見せどころではないかと思えます。

学校では司書、家庭では親だと思います。一番身近にいるのが親なので、親がどれだけ子どもに本を読んであげられるか。そこに気が付いてくれる方がたくさんいたら、日本一になれると思います。一番大切な時期にどれだけ本になじんでもらえるかが一番なので、そこを本気に考えなければ難しいと思います。市長が本気に考えてくれたらすぐ動くと思います。

### <岡田委員>

漫画については、漫画は表現様式の一つとっており、司書にも漫画好きは多いです。ただ、公共図書館では、予算や保存スペースなどの問題で積極的な収集は難しく、購入するのも評価の定まったものになりがちで、児童生徒の読みたいものかと言うとどうかなと思うところはあります。漫画が子どもの読書活動の推進につながるかは微妙なところですが、学校図書館や学級文庫は公共図書館に比べると、漫画の配置については小回りが利くのではないかと思います。

子どもの読書について、最近話題になっていた平凡社新書、飯田一史さんの『「若者の読書離れ」というウソ』に書かれていたのは、読書の習慣は遺伝的に決まっていて、習慣をもつのは日本人の半分くらいだそうです。今子どもの読書離れといわれていますが、読書率という点では調査を見るとV字回復しているそうです。ただし、それは小中学生までで、高校生は統計的には40年ぐらい前から変わらず、不読率は50%前後で、読む冊数も月に1、2冊となっているということです。これを見るとネットやスマホは特に関係ないようです。また、大人が読んでほしい、司書が読んでほしいと思う本と本人たちが読みたい本はかなり乖離しているそうです。守山市では中高生のサポーターがたくさんいて、おすすめ本を展示しています。同世代のおすすめ本の展示という取り組みは意味があると思います。小中学校で手厚くしても、高校生で本から離れてしまう子がいます。そうした子らに本に興味を持ち続けてもらうということに対しては、そこを同世代の力を借りてするのは有効かと思えます。

いつのものかわかりませんが、あるブログに「日本一の図書館県滋賀で行きたい3つの図書館」という記事があり、2番目に守山市立図書館があがっていました。そのフレーズが「若者人気No.1」というものです。先ほど申し上げたことも含めて、本なり文字なりに親しんでくれる高校生が育成できたらいいと思います。

「読書日本一のまち」については、指標というのが難しい。大人になったらなかなか読書の時間を取るのが難しいです。ただ、何かあったときに文字・本に戻って調べたり、楽しんだりできる、普段そんなに読まないけれど読書は好き、本に興味はある、という人が多かっただけいいなと思います。現在の指標は図書館のアウトプット数値だけなので、その他にそのような人を把握できるものはないかなと思います。可能であれば、何年か前に守山市で住やすき指標のアンケートをとっておられるが、そのような市のアンケート調査などで「読書は好きですか」というような質問項目があれば、一つの指標としてどの程度の状況かわかるのではないかと思います。

<村瀬委員>

「読書日本一のまち」この言葉はすごく好きですが、もっと広報もりやまでも読書日本一を目指しているよとPRできたらいいのかなと思います。

わくわく図書館まつり、見せていただきました。図書館ツアーがテレビで放映されたのを見て、書庫の本も見られるのだと思いました。そういった形で外部にPRするのも大事だなと感じました。

愛荘町のびんてまりの館の横に図書館があり、そこに日本一か滋賀県一かの表示があったので、司書に聞いたら、あまり知らない様子でした。記録がだいぶ下がってきているのかもしれませんが、一番を続けていくには市民に「読書日本一のまち」を知っていただくのがいいと思います。図書館の貸館でコンサートや歴史の発表があった際に、来てくれた人が、守山にすごい図書館があったのねと、帰りに図書館に立ち寄りたり、また図書館に来た人が貸館のイベントに参加してくれるということもありました。この素晴らしい図書館をますます発展していけたら一番うれしいと思います。

みんなでどんなことをしたら「読書日本一のまち」になるのか、これからも話し合っていけたらいいと思います。

<今関委員>

図書館をずっと使ってきた人間としては、使いやすくなったなというのが実感です。読書日本一かどうかはわかりませんが、私は守山市立図書館が好きです。それが本音ですが、まだ少し希望もあります。年を取ってきて、以前は歩いてこられた人が来られなくなり、図書館が遠くなったといわれることです。滋賀の図書館を考える会で話をきいたら、八日市だとおもいますが、小さな図書館カー（移動図書館車）というところみがあるようです。職員が運転できる小さな車で、本を運び、それぞれの集会所で身近に本を貸し出している。あとで岸本さんに事情を教えてもらいたいと思っています。

仲間と守山で勉強会をすることが多いですが、他市町から来る人たちが守山市の図書館をうらやましがっています。父親が子どもをつれてたくさん本を借りられる姿を以前より見るようになりました。子どもたちがたくさん本をうれしそうに抱えて、こんなにいっぱい借りられているのかというくらいで、平日にきても親子がいると感じます。守山の市民は喜んでいてと思っていますが、数値的にみると減っているようです。私は協議会に参加していて、近所のひとにも図書館の良さを宣伝しています。なかには市立より県立図書館のほうが良い本があると思っています人もいますが、そうではなくて、どこの市立図書館も市民にとっては一番借りやすい図書館で、市立に頼んだらよいというものをもっと宣伝していきたいです。私自身もリクエストをよくしていて、利用が減ってきている実感はありません。これをよく分析して、みんなの親しみやすい図書館、みんなが図書館好きとなって、図書館でまた会いましょうと出会いの場所となるような図書館になればうれしいです。

<佐伯委員>

私は今すでに日本一だと思っています。居心地がよく、たくさんの方が本を読んでい

て、昼寝している人や本を読まずに思索している人、勉強している人、いろいろな人が、それぞれ場所を得てゆっくりしている図書館だと感じています。

教育委員会の会議に私も出ましたが、「読書日本一のまち」についての質問に、図書館長が数値にもとづいて説明されていました。説明を聞いて改めてそういうことかと思いました。以前からの図書館と比べるとよくなっていると感じます。このまま続いていってほしいと思います。

今関委員も言われましたが、年をとると図書館は遠いです。身近にあるということが大事だと思います。身近にある図書館ということだと小中学校はまさにそうですが、以前小津小学校で子どもたちの授業の様子を見たことがあります。早く課題が終わった児童が教室の隅にある学級文庫から本を取って自由に読んでいました。また、その時は工事中で図書室がなくなっており、校長室をオープンにしておりましたが、たくさんの子どもが来てくれて、膝の上に来て絵本を読んだりしていました。やっぱりみんな本が好きだと感じました。「いつだって好奇心 手を伸ばせばそこに本」各学校で取り組んでほしいです。現状に満足せず、みんなでよい知恵を出していければいいと思います。

<会長>

いろんなご意見がでました。

他にご意見ありますでしょうか。

<岡田委員>

先ほど今関委員がおっしゃった小さな図書館についてですが、わりと早くに導入されたのは東近江市立図書館です。以前は大きなBM（Book Mobile/移動図書館）で学校・園を中心に回っていましたが、軽を改造した小さなBMで、市の市民センターや健康センターの人が集まる場所へこまめに行くことを始めました。その後近江八幡市で、栗東市でも今年度から導入されました。別の市でも導入を検討されていますが、財政的に厳しく、宝くじの助成金にエントリーしてうまくいきそうだという話は聞いています。教育長へお願いですが、BMの事業が増えると職員の負担が増えます。近江八幡でもそうされましたが、職員が増員されました。事業開始の際には、職員の負担が増えないように増員していただきたいです。

<会長>

他にご意見ありますでしょうか。

漫画についてはよろしいですか

<寺井委員>

参考になりました。

<岸本会長>

他にはご意見はありますでしょうか。ないようでしたら、次第の6その他の項目、事務局からお願いします。

## 5 その他

### <事務局>

今年度の図書館協議会は今回で最後となり、2年の委員の任期満了となります。委員の皆様、2年間図書館協議会委員としてご議論いただき、ありがとうございました。

### <岸本会長>

本日は、円滑な議事運営、また忌憚のないご意見、活発なご議論を賜りまして、ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

## 6 閉会

### <事務局>

岸本会長、委員の皆様、大変ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和7年度第3回守山市図書館協議会を閉会いたします。お帰りの際は、交通事故等お気をつけてお帰りいただきたいと思います。

本日は、誠にありがとうございました。

以上